

きのくにコミュニティスクールの実態と 学校運営協議会 の意識に関する調査の結果

【質問 3】学校運営協議会では、どのようなテーマで熟議を行っていますか。

【回答】

	主に授業、生徒指導等の充実、学校課題の解決、児童生徒に関すること	主にめざす学校、めざす子供像、学校運営に関すること	主に学校への支援（行事等）や地域との交流等、学校と地域の連携に関すること
小・中学校 義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けた児童生徒の現状把握と方策 ・キャリア教育の進め方 ・子供の健全育成 ・不登校児童生徒への対応 ・「うちどく」の推進 ・コロナ禍における学校行事の実施 ・休日における部活動の地域移行 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールプランの内容の吟味と学校の課題 ・スクールプランの実現 ・学校評価アンケートの結果 ・部会へのサポート ・新しく始める部会の取組内容 ・小学校における教科担任制 ・学校図書館の充実 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でのボランティア活動 ・地域防災訓練 ・通学路の危険箇所や不審者情報の共有 ・学校の統廃合や統合後の地域の在り方 ・家庭の教育力の向上 ・幼小中の連携の在り方 ・教職員の働き方改革（公民館活動や放課後子ども教室の活用、教職員が子供と向き合う時間の確保） ・児童と関わりのない地域の方への情報発信の方法 など
県立中学校 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進 ・自主性や協調性を育むためのクラブ活動の持ち方や学校行事の活用 ・ハローワークやサポートステーションと連携した就労支援 ・学校の状況をふまえた上での、生徒に卒業するまでに身につけさせたい力 ・生徒数の確保 ・全国募集生徒の支援方法 ・小中との連携の在り方 ・SDG'sへの取組方法、ボランティアへの参加 ・ものづくりを通じた特色ある教育活動の展開 ・地域貢献 ・地域に貢献する人材育成 など 		

特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・社会との関わりを大事にしたキャリア教育の在り方 ・学校の課題 ・これからの学校に期待すること ・特別支援学校のセンター的機能の充実及び学校間連携 ・進路指導の充実 ・地域や関係機関との連携による教育内容の充実 ・学校安全(防災・減災) <p style="text-align: right;">など</p>
--------	---

【参考】

○「きのくにコミュニティスクールリーフレット ～さらなるステップアップのために～」

※学校運営協議会の発展・充実のための視点などを掲載しています

○「きのくにコミュニティスクールリーフレット ～地域、学校 共に元気になるために～」

※話し合いの具体的な例とポイントを掲載しています

○「きのくにコミュニティスクールリーフレット ～さらなるステップアップのために～（高校編）」

※きのくにコミュニティスクールの仕組みや「熟議」のプロセスを掲載しています

【質問6-2】コミュニティ・スクールの取組の中で、特に成果を上げたことを1つお答えください。

【回答】

	主に授業、生徒指導等の充実、学校課題の解決、児童生徒に関すること	主にめざす学校、めざす子供像、学校運営に関すること	主に学校への支援（行事等）や地域との交流等、学校と地域の連携に関すること
小・中学校 義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会による授業参観や行事等において学校内外の児童生徒の様子を知ることができたこと ・防災教育を通し、「地域を守る一員」としての生徒の成長がみられること など 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標の変更 ・地域の願いをスクールプランに反映させたこと ・特色ある学校づくり など 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書、家庭科等学習ボランティアの充実 ・登下校の見守り ・児童虐待等の見守り ・学校に関わることで元気がもらえている方が多くなったこと ・大人同士のコミュニケーションの増加 ・学校への敷居が低くなったこと ・地域で子供を育てる気運の上昇 など
県立中学校 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートステーションやNPO法人などと連携した生徒の居場所づくり ・企業の目線を取り入れた実習機器の分類・整理 ・制服選択制の導入 ・生徒指導面での地域、関係機関との連携強化 ・学校への理解が深まったこと ・学校への敷居が低くなったこと ・地域の意見が言いやすくなったこと など 		
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習における作業製品の品質向上及び販売広報活動の進展 ・高等部におけるキャリア教育の充実 ・地域との交流促進 ・学校教育活動の啓発 など 		

【きのくにコミュニティスクール推進協議会における意見】

○学校運営協議会においては、「学校の課題は何か」「子供たちをどんな子供に育てたいか」等を議論し、委員が共通認識する中で、「今できることは何か」についても具体的に議論し、委員一人一人が当事者意識をもって学校の課題や地域の課題を見つめていってほしい。

○特徴的な取組をしている学校の様子を参考にしてほしい。

○学校と地域の情報共有やきのくにコミュニティスクールの理解促進のため、教職員や地域、保護者に今後も発信することが必要。きのくにコミュニティスクールを活用した取組を広く周知できれば、地域の人々の考えを熟議に反映させることにつながる。

【質問 6 - 3】コミュニティ・スクールの取組において、何が課題だと考えていますか。

【回答】

	学校運営協議会の運営等に関すること	その他
小・中学校 義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員の人選 ・委員が当事者意識を高めること ・熟議が十分できていないこと ・熟議した内容を具体的な活動につなげていること など	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における活動の見直しや縮小 ・地域人材の発掘 ・全教職員への理解 ・地域、保護者へのコミュニティ・スクールの理解促進 ・学校・家庭・地域との連携や交流 ・予算の確保 など
県立中学校 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員の人選 ・熟議した内容を具体的な活動につなげていること など	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子供を育てる視点の乏しさ ・保護者や地域の中心となる人材の不足 ・教員の負担軽減と業務の平準化、働き方改革の推進等、バランスを考えた実践を進めていくこと など
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・委員が中心となった取組体制の構築 ・地域への情報発信や広報の強化 など	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域」の捉え方 ・地域や関係機関との継続的な協議や交流、啓発活動 ・コロナ禍における教育活動、地域における活動の制限 など

【きのくにコミュニティスクール推進協議会における意見】

- 異動や交代等により学校長並びに委員が入れ代わった学校運営協議会をどう機能させていくかが課題となる。その際、機能的な引き継ぎを行い、連携や伝達の工夫を大切にしてほしい。
- 学校教育目標（スクール・ポリシー）を共通理解した上で、それぞれの学校や地域の課題に沿った学校運営協議会にしてほしい。
- コロナ禍の今、「コロナ禍だから何もできない」ではなく、「コロナ禍でもできることは何か」「コロナ禍が過ぎてできることは何か」等を考えていく期間にできればよい。

【質問 7】今後、学校運営協議会でどのようなことに取り組んでみたいと考えていますか。

【回答】

	主に授業、生徒指導等の充実、学校課題の解決、児童生徒に関すること	主にめざす学校、めざす子供像、学校運営に関すること	主に学校への支援（行事等）や地域との交流等、学校と地域の連携に関すること
小・中学校 義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教科学習の支援 ・放課後学習の支援 ・児童生徒（不登校児童生徒等）への直接サポート ・制服や校則の見直し など 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にした上での熟議の実施 ・児童生徒の熟議への参加 ・情報発信の強化 ・学校運営協議会委員による地域とのコーディネート など 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の見守り、あいさつ運動 ・通学路の安全点検 ・校区全体での防災訓練や防災キャンプ ・ボランティアバンクの作成 ・ボランティアや職場体験等、子供のキャリアアップが図れるような活動を地域が受け入れることができる仕組みづくり ・他の学校運営協議会や市町村との交流 ・委員と児童生徒や教職員、保護者との交流 ・幼・保、高等学校との連携・交流 など
県立中学校 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決も視野に入れたカリキュラム・マネジメント ・生徒や教職員を巻き込んだ仕組みづくり ・特色ある学校づくり ・生徒の地域貢献 ・小・中学校へのPR など 		
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒からの情報発信 ・学校の教育活動の充実 ・地域企業や事業所との交流促進 ・地域への各校教育活動の理解啓発 など 		

【きのくにコミュニティスクール推進協議会における意見】

○学校と学校運営協議会が熟議をすることで覚えやすい教育目標に変更したり、教育計画を見たい時にすぐに確認できるようにしたりする等、誰もが同じ方向を向くための仕組みや手法を取り入れてほしい。